

保健所における福祉情報

坂本 健

要約：保健・医療・福祉の総合窓口となる保健所が提供する福祉情報の例として、5つの具体的情報サービスをとりあげ、その意味と内容について略述するとともに、情報提供の前提となる諸問題について検討した。

見出し語：保健所；保健福祉情報；福祉情報システム

1 保健福祉情報サービスの必要性

社会の成熟化、生活の高度化が進行するに伴い、保健・福祉に関するニーズも複雑多様化・専門化し、量的増大と共に就労・教育・住宅・安全・生きがいに至るまで多様な内容を含みつつ、拡大の様相を呈している。このようなニーズに対し、公私様々な援助機関が介在しているが、必ずしもニーズに対し十分な対応がなされているとは言い難い現状にある。例えば公的機関においては、保健サービスと福祉サービスの分断や各サービス内の不連続によって各種サービスが有効に提供されていない状況、また利用者にとってはサービス選択のもととなる情報が十分に行き届いていないという状況がある。保健・福祉実践の場においても同様の傾向が問題

となっており、保健所と福祉事務所・児童相談所との情報の共有や交換は十分とは言えず、パイロット的な先進事業の他は、両者の取り組みは単発的なものになりがちであり、統合化の域に達するには今しばらく時間を要するものと見込まれる。

このような現状にあって、常に利用者の生活とニーズを基本にすえ、ライフサイクルの展開に沿った継続的な、予防からリハビリまでの一貫したサービス体制の整備をはかることが強く求められており、生活の諸過程で生起するニーズに対する確かなサービスの供給をもって応えるシステムづくりが必要とされている。また可能な限り住み慣れた地域で自立した生活をおくることのできるような、在宅ケアと施設ケアを一

* 日本総合愛育研究所

(Nippon Aiku Research Institute For Maternal Child Health & Welfare)

体的に提供する地域ケアシステムの推進が求められているが、そのためには、保健・医療・福祉の有機的な連携が不可欠である。なぜなら、利用者の立場からすれば必要なサービスは一カ所の機関で受けられることが望ましい。一方サービス提供側にとっても、関係機関の情報を共有することによって、自所のサービスだけでは十分な援助効果をあげることが困難なケースをフォローしていくことが可能となる。

このようなシステムづくりの有力手段として考えられるのが、保健・福祉情報サービスシステムの構築である。情報を保健サイドと福祉サイドが共有することにより、全体としてトータルなサービスの提供を可能ならしめる。従来以上に利用者のニーズに合致したサービスを、パッケージとして提供することが実現されよう。提供側にとってもチームワークのとれた効果的・効率的な対応が期待できるに違いない。

II 保健所の機能と福祉情報

保健所は保健・医療・福祉をはじめとして各分野に関する利用者からの相談に総合的に対応していく窓口であり、しかも利用者とのファースト・コンタクト・ポイントとなる。それだけに個別的専門相談の充実にもむけて、より高度な、そして的確な情報の提供が求められている。

また地域の状況を把握して、地域特性に即応した形での情報提供や連絡調整を行なうことが要請されており、地域の保健・医療・福祉の情報センターとして、保健所の果たす役割は大きい。保健所においては、①ニーズの発見・把

握、②アセスメント、③ケア計画の立案、④ケアの実施、⑤モニタリング、⑥再アセスメントというケースマネージメントの手順に基づいてサービスが提供される必要がある。その時々、利用者の生活を保持・向上させるという観点から、常に最新かつ良質な情報が提供されているか、ケアパッケージがなされているか、保健・医療・福祉サービス他、公私別を含めて関連サービス間のコーディネートがはかられているかなどに注視することが重要であり、保健・医療・福祉の協働と相互調整のために、保健・福祉に関する総合的な情報システムの構築が急がれるところである。

III 保健所と福祉情報システム

保健所において整備することが求められる福祉情報については、保健所の種別、地域状況及び対象・目的等を考慮してプライオリティを決定する必要があるが、次のようなものが考えられる。

①相談支援情報

保健所における相談では、保健・福祉をはじめとして関連領域の幅広い知識が必要とされる。相談活動の場においては、日々多くの知識・ノウハウが蓄積されていくが、それらの貴重なデータは、個人の体験として、個別に保有されているのが現状である。しかしより充実した相談活動を行うためには、プライバシーに十分留意した上で、これらの知識・ノウハウを交換し、職員相互・機関相互で共有することが重要となる。それによって、一定水準の情報提供が進められること（標準化）、また貴重な実践

を全国レベルで共有することが可能となり、研修にも役立ち得るものであることから、保健・福祉情報システムの一つとして価値があると思われる。

②在宅介護・介助支援情報

後期高齢人口の増加に伴い、虚弱老人、寝たきり老人、痴呆性老人等の増加が予想される。こうした要介護者を家庭でケアする介護者の負担にははかりしれないものがある。負担の軽減を目標として、介護・介助の効果的な方法が伝達されれば、在宅ケア推進の一助ともなろう。もちろん老人のみならず育児に悩む母親、障害者、傷病者の場合も同様である。

③制度・施策情報

福祉に関する法令・通知をもとに各制度を体系化し、利用者の必要性に応じて多面的に提供するものである。この情報により、保健所の窓口においても、福祉分野の施策を含めた形での総合的な相談が行なえる。地方独自に行われている制度をどのようにしてカバーするかが課題である。

④在宅福祉サービス情報

対象別にメニュー主義と言われるほどに、様々な在宅福祉サービスが実施されている。これらの事業を分類・整理し、ニーズに応じて適切なサービスを紹介することは、諸サービス間の効果的活用をはかる上でも有用である。また可能ならば、全国の先進的な活動事例の収集も行ないたい。

⑤保健・福祉資源情報

保健・福祉にまたがる総合的な調整・支援を行なうためには、利用可能な社会資源について

の最新情報を的確に把握しておく必要がある。とりわけ在宅福祉サービス情報とあわせ、利用者に対して在宅ケアを推進していく場合には、地域の諸資源の有効活用が必須の条件となる。そこで、保健・福祉活動推進のために有用な関連分野（民間を含む）を含めたデータベース化を行い、必要に応じ適切な機関・団体を紹介するもので、各機関・団体のネットワーク化の促進にも役立ち得ると考えられる。

保健所が提供する福祉情報の一例として、主として保健関係者の業務活動を支援する側面からの情報提供を考察した。しかしこうした情報の多くは、保健・福祉情報を必要としている利用者にも直接役立つものであり、利用者自身が直接接近できる方法も考える必要がある。また例示した情報の他にもいくつかの情報提供が考えられるが、現在社会福祉領域で開発されている情報システムとのゲートウェイを促進することにより、効率的なそしてより総合的な情報提供のあり方を検討することが求められている。

保健・医療・福祉が一体となった情報提供は、今後の社会にとって必須のものである。しかし行政のたてわり構造からくる連携の中断や、福祉サービス側の特性、すなわち福祉サービスは申請主義を原則とするものであることから、内容によっては情報システムにそぐわないものがあることなど、システムの構築とあわせて検討しなければならない課題も多く残っている。また情報提供窓口に従事する「人」に対しては、今日以上の高い倫理と専門性が求められることになるだろう。マンパワーの問題も忘れてはならない課題である。

乳幼児健康診査調査票

処理 ① 登録 2 修正

① 児童番号 保健番号 処理番号 区市町村コード

① 提出履歴
 調査所提出履歴
 1. 初回提出 ==> (2) を記入
 2. ==> (2) の記入は
 面目の
 提出

② 種別
 1. 3~4か月児健康診査 => (3) と (4) を記入
 2. 1歳6か月児健康診査 => (3) と (5) を記入
 3. 3歳児健康診査 => (3) と (5) を記入
 4. 経過観察診査・発達診査 => (3) と (6) を記入
 5. 訪問 => (3) と (6) を記入
 9. その他 () => (3) と (6) を記入

(2) 初回自己記入項目

調査票初回提出の場合に記入してください。

③ 生年月日 本人
 1. 昭和 年 月 日
 2. 平成 年 月 日

④ 性別
 1. 男 ⑤ 出生順位 子 【多胎の場合
 2. 女 第 子 =====

⑥ 妊婦病 既往 (複数可)
 1. なし
 2. 心疾患
 3. 高血圧
 4. 腎疾患
 5. 妊婦中毒症
 6. 糖尿病
 9. その他 ()
 F. 不明

⑦ 妊婦経過 (複数可)
 1. 正常
 2. 貧血
 3. 妊婦中毒症
 4. 感染症
 5. 糖尿病
 9. その他 ()
 F. 不明

⑧ 出生時の状況
 体重 g 身長 cm
 仮死 黄疸 胎位処置 哺乳力
 (1. なし (1. 普通 (1. なし (1. 1
 2. あり (2. 検査 (2. 光線療法 2. 2
 F. 不明 (3. 遅延 (3. 交代換血 3. 3
 F. 不明 F. 不明 F. 不明

(4) 乳幼児健康診査調査票の項目

3~4か月児健康診査など乳児の健康結果を記入してください。

① 健康時計測値
 計測年月日 (健康実施日) 体重 kg 身長 cm 胸囲 cm 頭囲 cm
 平成 年 月 日

② 主訴
 主訴コード

③ 診察所見
 1) 成長 0. 所見なし 1. 体重増加不良₁₂₃ 2. 肥満₁₂₃ 3. 低身長₁₂₃ 9. その他 ()
 2) 皮膚 0. 所見なし 1. 湿疹・皮膚炎₁₂₃ 2. アトピー傾向₁₂₃ 3. 血管腫₁₂₃ 4. 母斑₁₂₃ 9. その他 ()
 3) 顔面部 0. 所見なし 1. 顔面₁₂₃ 2. 大鼻門₁₂₃ 3. 口唇・口蓋₁₂₃ 4. 斜視₁₂₃ 9. その他 ()
 4) 眼耳 0. 所見なし 1. 斜視₁₂₃ 2. 視覚₁₂₃ 3. 聴覚₁₂₃ 4. 形成異常₁₂₃ 9. その他 ()
 5) 体幹 0. 所見なし 1. 心音異常₁₂₃ 2. 呼吸器異常₁₂₃ 3. 胸ヘルニア₁₂₃ 4. そけいヘルニア₁₂₃ 5. 痔瘻₁₂₃ 6. 陰のう水腫₁₂₃ 9. その他 ()
 6) 四肢 0. 所見なし 1. 関節拘縮₁₂₃ 2. 内反足₁₂₃ 3. 指趾異常₁₂₃ 9. その他 ()
 7) 運動神経発達 (1) 筋力 (2) 動き (3) 引き起こし (4) 遠投 (5) 音・声 (6) その他 ()
 (1. 普通 (1. + (1. + (1. + (1. + (1. 所見なし
 2. 尤進 (2. ± (2. ± (2. ± (2. ± (2. 疑い
 3. 低下 (3. - (3. - (3. - (3. - (3. 所見あり
 8) その他 0. 所見なし 1. 貧血₁₂₃ 9. その他 ()

④ 診察結果 (複数可)
 1. 特記所見なし ⑤ 指導 (複数可) 1. 特になし ⑥ 事後措置 (複数可) 1. 特になし
 2. 要治療 2. 保健指導 2. 経過観察 2. 発達診査 2. 疑い
 3. 要精密 3. 栄養指導 3. 発達診査 3. 経過観察 3. 医師紹介
 4. 要観察 4. 心理相談 4. 発達診査 4. 心理相談 4. 医師紹介
 5. 加療中 5. 加療中 5. 医師紹介
 6. 療育相談 6. 療育相談 6. 医師紹介
 9. その他 () 9. その他 () 9. その他 () 9. その他 ()

⑦ 問題点と対応
 【注】この欄は個別の問題点ごとに対応を記入するためのものです。必須記入欄ではありません。この欄を利用すれば、より詳細に問題点とその対応を照対することができます。

問題点 (主訴・診察所見など)	問題点コード	診察結果	指導	事後措置
1)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

別紙コード記入 ④欄のコード記入 ⑤欄のコード記入 ⑥欄のコード記入

(5) 1歳6か月・3歳児健康診査など幼児の健康結果を記入

1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査など幼児の健康結果を記入してください。

① 健康時計測値
 計測年月日 (健康実施日) 体重 kg
 平成 年 月 日

② 主訴
 主訴コード

③ 診察所見
 0. 以下の1)~7)の所見すべてなし
 1) 内科 1. 肥満₁₂₃ 2. やせ₁₂₃ 3. 喘息・呼吸器疾患₁₂₃ 9. 他の内科疾患・所見
 2) 神経 1. てんかん・けいれん性疾患₁₂₃ 9
 3) 皮膚 1. 湿疹・皮膚炎₁₂₃ 2. アトピー傾向
 4) 眼科 1. 斜視₁₂₃ 2. 屈折下偏₁₂₃ 3. 9. 他の眼の疾患・所見
 5) 耳鼻科 1. 聴力障害₁₂₃ 2. 中耳炎・流出性中耳炎
 6) 外科 1. そけいヘルニア₁₂₃ 2. 痔瘻
 7) その他 1. 整形外科的異常₁₂₃ 2. 精神発達 4. 日常生活習慣・育児の問題₁₂₃

④ 診察結果 (複数可)
 1. 特記所見なし ⑤ 指導 (複数可) 1. 特になし ⑥ 事後措置 (複数可) 1. 特になし
 2. 要治療 2. 保健指導 2. 経過観察 2. 発達診査 2. 疑い
 3. 要精密 3. 栄養指導 3. 発達診査 3. 経過観察 3. 医師紹介
 4. 要観察 4. 心理相談 4. 発達診査 4. 心理相談 4. 医師紹介
 5. 加療中 5. 加療中 5. 医師紹介
 6. 療育相談 6. 療育相談 6. 医師紹介
 9. その他 () 9. その他 () 9. その他 () 9. その他 ()

⑦ 問題点と対応
 【注】この欄は個別の問題点ごとに対応を記入するためのものです。必須記入欄ではありません。この欄を利用すれば、より詳細に問題点とその対応を照対することができます。

問題点 (主訴・診察所見など)	問題点コード	診察結果	指導	事後措置
1)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

別紙コード記入 ④欄のコード記入 ⑤欄のコード記入 ⑥欄のコード記入

(3) 未通年(回数)記入項目
 調査票提出ごとに記入してください。

母娘
 1. 昭和 [] 年

のみ記入
 胎数 [] の内の [] 子
 胎 第 [] 子

産中喫煙
 1. なし
 2. あり
 F. 不明

産中飲酒
 1. なし
 2. あり
 F. 不明

④ 分娩経過 (複数可)
 1. 正常 在胎 道
 2. 骨盤位
 3. 帝王切開 []
 4. 吸引・鉗子
 5. 産域分娩
 9. その他 ()
 F. 不明

胸囲 [] cm
 頭囲 [] cm

保育器使用 酸素使用 人工呼吸器
 1. なし 1. なし 1. なし
 2. あり 2. あり 2. あり
 F. 不明 F. 不明 F. 不明

⑤ 運動発達

定頻	寝返り	お座り	ハイハイ	つかまり立ち
1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年	1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年	1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年	1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年	1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年
1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年	1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年	1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年	1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年	1. + → [] 2. ± [] 3. - [] F. 不明 月 年

⑥ 生後3か月頃の栄養法
 1. 母乳栄養
 2. 混合栄養
 3. 人工栄養
 離乳食開始 [] 月

⑦ 家族数 [] 人
 家族形態
 1. 核家族
 9. その他 ()
 F. 不明

⑧ 日中の保育者 (主なもの1つ)
 1. 母
 2. 祖母
 3. 保育所
 9. その他 ()
 F. 不明

⑨ 母親の職業 (主なもの1つ)
 1. なし
 2. パート
 3. 自営
 4. 専勤
 9. その他 ()
 F. 不明

(6) 経過観察受診項目
 一般経過観察健診、発達健診、各種相談、訪問指導などの結果を記入してください。

① 身長 [] cm 胸囲 [] cm 頭囲 [] cm

主訴コード []

性気管支炎:123 4. 貧血:123 5. 心疾患:123

他の神経系疾患・所見
 3. ストロフルス:123 9. 他の皮膚科疾患・所見

聴覚異常(視力・近視・遠視・乱視・等):123

炭:123 3. 扁桃肥大:123 9. 他の耳鼻科疾患・所見
 3. 包茎:123 9. 他の外科的疾患・所見

泌尿の問題:123 3. 言語発達面の問題:123
 9. その他の疾患・所見・問題

① 特記所見なし
 2. 経過観察健診
 3. 発達健診
 4. 心理経過観察
 5. 医療機関紹介
 6. 医療機関管理
 7. 地区担当保健師
 9. その他

② 特記所見なし
 2. 要指導
 3. 要治療
 4. 要精密
 5. 要清掃
 6. 予防処置
 F. 不明・非該当

③ ④のコード記入 ⑤のコード記入 ⑥のコード記入

① 経過観察の期間 平成 年 月 日

1. 終了 [] 月 [] 日
 2. 現在継続中

② 経過観察の方法 (複数可)
 1. 一般経過観察健診
 2. 発達健診
 3. 療育相談
 4. 心理相談
 5. 訪問
 9. その他 ()

③ 経過観察の理由 (複数可)
 1. 低出生体重
 2. 育児の問題
 3. 発達の問題
 4. 言語発達の問題
 5. 精神・心理の問題
 6. 保育上の問題
 7. 疾病の疑い
 9. その他 ()

④ 経過観察の理由 (主なもの1つ)
 1. 通知書など
 2. 3-4か月健診
 3. 6-9か月健診
 4. 1歳半健診
 5. 3歳半健診
 6. 訪問
 7. 電話・面接
 8. 関係機関連絡
 9. その他 ()

⑤ 計測日時 計測値

計測日時	計測値	体重 kg	身長 g	胸囲 cm	頭囲 cm
1)	[]	[]	[]	[]	[]
2)	[]	[]	[]	[]	[]
3)	[]	[]	[]	[]	[]
4)	[]	[]	[]	[]	[]
5)	[]	[]	[]	[]	[]

⑥ ⑦ ⑧ ⑨

⑥ 主要問題点	⑦ 問題点コード	⑧ 診察結果	⑨ 指導	最終結果	医療機関紹介
1)	[]	[]	[]	[]	[]
2)	[]	[]	[]	[]	[]
3)	[]	[]	[]	[]	[]
4)	[]	[]	[]	[]	[]

⑩ 診察結果コード
 0. 非該当(診察せず)
 1. 特記所見なし
 2. 要治療
 3. 要精密
 4. 要観察
 5. 加療中
 6. 療育相談
 9. その他 ()

⑪ 指導コード
 1. 特記なし
 2. 保健指導
 3. 栄養指導
 4. PT指導
 5. 心理相談
 9. その他 ()

⑫ 最終結果コード
 1. 問題解決・終了
 2. 医療機関紹介・終了
 3. 他機関紹介・終了
 4. 転出・中断
 5. 死亡・中断
 6. 地区担当保健師・継続
 9. その他 ()

⑬ 医療機関紹介コード
 0. 紹介なし
 1. 小児科
 2. 外科
 3. 整形外科
 4. 眼科
 5. 耳鼻科
 6. 皮膚科
 7. 泌尿器科・産婦人科
 9. その他の科 ()

【注】問題点コードは、少なくとも2桁までは必ず記入してください。
 3桁の問題点コードは別紙「主訴・所見・疾患名コード表」を参照してください。
 1桁の名コードは、それぞれ対応する問題点ごとにコードを記入してください。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:保健・医療・福祉の総合窓口となる保健所が提供する福祉情報の例として,5 つの具体的情報サービスを取りあげ,その意味と内容について略述するとともに,情報提供の前提となる諸問題について検討した。